

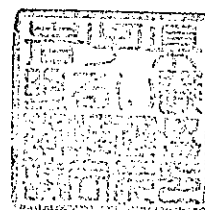
岩 明 第 10 号

令和元年 5 月 29 日

岩手県政策地域部学事振興課総括課長 様

岩手県明るい選挙推進協議会

会 長 小水内 邦 子



明るい選挙啓発授業の実施について（依頼）

明るい選挙の推進につきましては、日頃より格別の御協力を賜り厚く御礼申し上げます。

さて、当協議会では、各市町村の明るい選挙推進協議会及び選挙管理委員会の御協力の下、小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、専門学校及び大学等を対象とした明るい選挙啓発授業を行っています。

この授業は、近年の選挙の投票率が特に若年層において低下傾向にあることが問題となっているところ、将来の有権者である児童、生徒及び学生等に選挙や政治に関心を持ってもらうことが必要であると考え、平成 18 年度から実施しているものであり、今年度も別添実施要領により実施することとしております。

つきましては、県内の私立高等学校、専門学校及び専修学校に対しまして、別添実施要領を貴職から送付し、啓発授業の実施について御案内くださるようお願いいたします。

なお、御案内に当たっては、今年度は参議院議員通常選挙に加え、県知事選挙及び県議会議員選挙の執行が予定されているため選挙事務等の都合により、御希望に沿いかねる場合もある旨、お伝え願います。

また、実施を希望する場合は、各校から直接下記担当に申し込むよう併せてお伝え願います。

記

実施希望の回答期限（最終） 令和元年 12 月 27 日（金）

担 当：事務局 小田島
電 話：019-629-5238
FAX：019-629-5224
E-mail：DC0001@pref.iwate.jp

令和元年度明るい選挙啓発授業実施要領

1 趣旨

児童・生徒・学生等を対象に選挙制度等についての授業を実施することにより、社会参加と政治・選挙を学ぶとともに、明るい選挙に対する関心を持たせることを目的とする。

2 主催

岩手県明るい選挙推進協議会（各支部） 市町村明るい選挙推進協議会（予定）

3 後援

岩手県選挙管理委員会 岩手県教育委員会（予定）

なお、実施学校が所在する市町村選挙管理委員会、市町村教育委員会の後援についても、主催者から依頼する場合がある。

4 実施時期

関係機関と調整の上、決定する。

5 実施対象

県内の小学校、中学校、義務教育学校、高等学校、専門学校及び大学等とする。

なお、各支部は管内の小・中学校（義務教育学校を含む。以下同じ。）で少なくとも1校のほか、高等学校、専門学校、大学等においても実施すること（小学校での授業の場合、授業対象者は高学年に限る。）。

6 実施内容

別紙1を参考に関係機関と調整の上、決定する。

7 実施申込み

別紙2の申込書により申し込むものとする。

申込先は、小・中学校の場合は岩手県明るい選挙推進協議会各支部、公立高校の場合は岩手県教育委員会事務局学校教育課、それ以外の学校等の場合は岩手県明るい選挙推進協議会（岩手県選挙管理委員会事務局内）とする。

8 その他

（1）学習のために用いる次の資料については、岩手県明るい選挙推進協議会が用意する。

ア 啓発映画「主人公は君だ！」等のDVD（制作 （公財）明るい選挙推進協会）

イ 児童・生徒・学生等向けパンフレット「選挙について学んでみよう」（制作 岩手県明るい選挙推進協議会、岩手県選挙管理委員会）

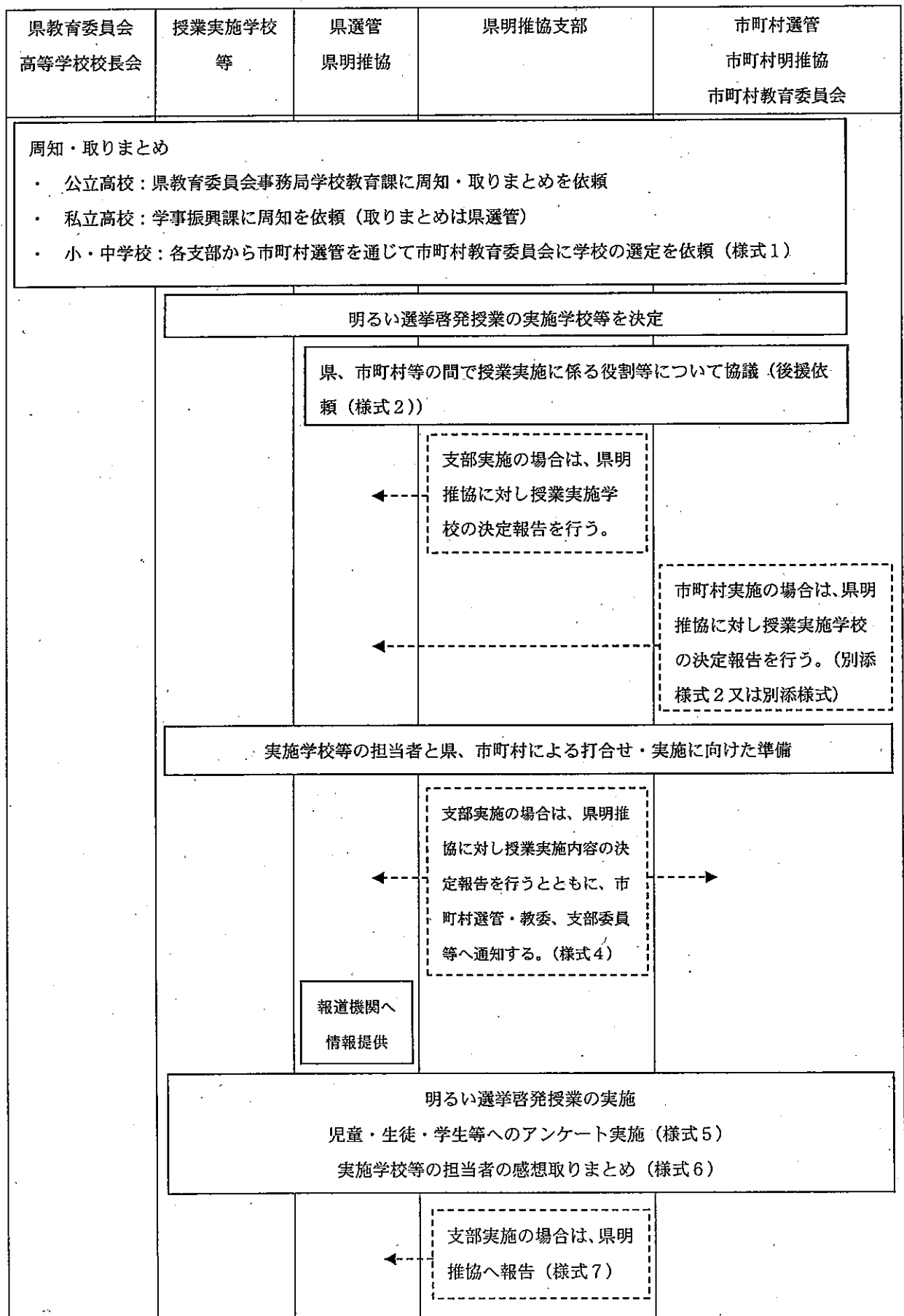
（2）授業終了後、児童・生徒・学生等に対し、明るい選挙に対する関心等についてのアンケートを実施する。

（3）授業終了後、実施対象（学校等）の担当者から授業に関しての感想を聞き取る。

（4）高等学校、専門学校、大学等の授業においては、進学や就職等に当たって住所を移転した場合の住民票の異動について周知する。

（5）18歳未満の者を対象とした授業においては、親子連れ投票について周知する。

明るい選挙啓発授業実施手順（例）



別紙 1

明るい選挙啓発授業実施内容（参考例）

1 模擬投票実施タイプ（1コマ）

項目	時間	内容
・選挙に関する講座	10分	・県選管の職員等から選挙の意義などを説明 （例：投票率の推移、若者の低投票率による影響、なぜ選挙が大切か、国民投票、投票方法等）
・模擬投票、 ・選挙クイズ ・開票結果発表	30分	・実際の投票箱や記載台などを活用した投票を体験 （例：架空の候補者について、模擬用の投票用紙や選挙広報を配付し実施） ・開票作業中に選挙クイズを行う ・開票後、結果を発表する
・まとめ ・アンケート実施	10分	・アンケートの記入が授業時間内に終わらない場合、後日提出も可能

2 グループワーク実施タイプ（1コマ）

項目	時間	内容
・選挙に関する講座	10分	・県選管の職員等から選挙の意義などを説明 （例：投票率の推移、若者の低投票率による影響、なぜ選挙が大切か、国民投票、投票方法、グループワークの説明等）
・グループワーク ・発表	30分	・少人数のグループワークにより生徒自身で考え発表する（例：若者の投票率が低いのはなぜか、投票率を上げるためのアイデア等）
・まとめ ・アンケート実施	10分	・アンケートの記入が授業時間内に終わらない場合、後日提出も可能

3 模擬投票・グループワーク実施タイプ（2コマ）

項目	時間	内容
・選挙に関する講座	30分	・県選管の職員等から選挙の意義などを説明 （例：投票率の推移、若者の低投票率による影響、なぜ選挙が大切か、国民投票、投票方法、グループワークの説明等）
・グループワーク ・発表	20分	・少人数のグループワークにより生徒自身で考え発表する（例：若者の投票率が低いのはなぜか、投票率を上げるためのアイデア等）
・模擬投票 ・選挙クイズ ・開票結果発表	35分	・実際の投票箱や記載台などを活用した投票を体験 （例：架空の候補者について、模擬用の投票用紙や選挙広報を配付し実施） ・開票作業中に選挙クイズを行う ・開票後、結果を発表する
・まとめ ・アンケート実施	15分	・アンケートの記入が授業時間内に終わらない場合、後日提出も可能

別紙2

年 月 日

令和元年度「明るい選挙啓発授業」申込書

学校名		
参加予定者	学年	
	人数	
実施希望時期		
連絡先	担当者名	
	電話番号	
	メールアドレス	
要望事項		

(記載例)

年 月 日

令和元年度「明るい選挙啓発授業」申込書

学校名		〇〇高等学校
参加予定者	学年	2 年
	人数	60 人
実施希望時期		10 月上旬
連絡先	担当者名	〇〇〇〇
	電話番号	***-***-****
	メールアドレス	*****@****. **. **
要望事項		<ul style="list-style-type: none"> ・ 〇〇について詳しく話して欲しい ・ 〇〇を貸し出して欲しい